

謝辞

本研究を進めるにあたって、長きにわたりご指導いただきました木瀬秀夫教授に心より御礼申し上げます。私の甘さ故に研究が進まないときも、また、研究が本筋から離れそうになったときも、変わらず見守ってくださったことに本当に感謝いたしております。

私が博士課程に進み研究する中で、常に目を掛けてくださった小林正美助教授に心から御礼申し上げます。研究に対する数々の御指摘は勿論、人にもものを教え、伝えようとする姿勢を学ばせていただけたことは、私にとって大きな財産になると思います。

本研究を共に進めてきた大江宙君、長谷川幹展君、二人の存在は欠かせないものでした。本当にありがとうございます。

私が本研究に取り組むにあたって基礎から教えていただいた木島龍朗博士に心から感謝致します。研究に対する心構えなど、これからも忘れないようにします。

本研究室をご卒業された糸澤利明博士、笹木俊哉博士、永嶋徹氏、山本康仁氏、倉知幸一郎氏、野田直広氏、一戸大吾博士、手島勝君、新井隆之君、伊藤健一君、藤田聡史君、坪井裕君、斎藤憲洋君、渡辺正行君、中村雅さん、安久津聡君、佐藤真希子さん、浜野剛宏君、村中利崇君、山中友之君、そして、現木瀬・小林研究室の秋山満知子さん、樊渝江氏、楊博氏、山村麻由さん、稲垣志門君、小小学君、隄大輔君、加藤裕一君、秋田大君、柴田清彦君、富永啓介君、平岡久里子さん、佐々木健太郎君、西川祐君、西村実幸さん、松田志織さん、大勢の方と出会えたこと、また皆様方との研究に関する会話も、研究以外の会話も、その全てが実り多かった研究室での生活の支えとなりました。誠に感謝しております。

最後になりましたが、私を信じ、ここまで研究を続けることを快く許してくださった家族に心から感謝致します。

2000年3月 山本信治